



2024年10月31日

各 位

会 社 名 日本軽金属ホールディングス株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 岡 本 一 郎  
(コード番号 5703 東証プライム)  
問合せ先 企画統括室 広報・IR担当 石川 千津  
(TEL 03-6810-7160)

### (開示事項の中止) 連結子会社の株式の譲渡に係る統合基本契約の解約に関するお知らせ

当社は、2022年8月31日付「連結子会社の株式の譲渡に係る統合基本契約の締結に関するお知らせ」ならびに同日付「東洋アルミニウム株式会社と株式会社UACJ製箔の経営統合に向けた統合基本契約締結に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、連結子会社（100%子会社）である東洋アルミニウム株式会社（以下：「東洋アルミニウム」）について、当社が保有する東洋アルミニウムの株式をJICキャピタル株式会社（以下：「JICC」）が運用するファンド（JICPEファンド1号投資事業有限責任組合）に46%ならびに東洋アルミニウム（自己株式取得）に54%譲渡し、東洋アルミニウムと株式会社UACJの連結子会社である株式会社UACJ製箔（以下：「UACJ製箔」）（以下：東洋アルミニウムとUACJ製箔の2社を「両事業会社」）が2023年4月1日（予定）を効力発生日として経営統合し、JICCが統合後の会社の議決権の80%を取得し、株式会社UACJが議決権の20%を保有すること（以下：「本経営統合」）について合意し、統合基本契約書を締結しました。その後、2023年2月27日付「連結子会社の株式の譲渡に係る統合基本契約の実行日延期に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、JICC、株式会社UACJ、当社及び両事業会社は、本経営統合の日程を延期することを合意し、本経営統合の実現に向けた準備を行ってまいりましたが、統合基本契約の当事者全社で協議を進めた結果、本経営統合が目指した日本製アルミ箔製品の安定供給による日本の産業の下支え、日本のアルミ箔業界の更なるプレゼンス強化・企業価値の向上などの課題認識は引き続き持ちながらも、本統合を実施するための条件が整わず、現時点においては、それぞれのグループが単独での成長戦略を描くことといたしました。それに基づき、この度JICC、株式会社UACJ、当社及び両事業会社は、本経営統合を中止し統合基本契約の解約を行うことに合意し、当社は、本日開催の取締役会において、統合基本契約の解約に関する合意書を締結することを決議し、統合基本契約を本日付で解約しましたのでお知らせします。

#### 1. 本統合基本契約解約の理由

本経営統合の実施における条件が最終的に整わなかったことによるものです。

## 2. 今後の見通し

当社は、2024年5月15日付で公表いたしました「経営改革に関するお知らせ」のとおり、ステークホルダーの皆様への確かな価値の提供による企業価値向上を目指し、新生チーム日軽金として経営改革を実行しております。東洋アルミニウムにつきましては、本経営統合の中止により、株式の譲渡は実行せず、当社の連結子会社として、新生チーム日軽金の一員である「箔事業グループ」として一層の飛躍を目指してまいります。

なお、本経営統合の中止が当社の2025年3月期の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。

(添付資料)

2024年10月31日付「東洋アルミニウム株式会社と株式会社UACJ製箔との合併による経営統合の中止及び経営統合に関する統合基本契約の合意解約に関するお知らせ」

以上

2024年10月31日

各 位

会社名	東洋アルミニウム株式会社
代表者名	代表取締役社長 楠本 薫
問合せ先	法務・広報チーム 山越、檜垣 (TEL 06-6271-3186)
会社名	株式会社UACJ製箔
代表者名	代表取締役社長 今泉 明人
問合せ先	管理本部 人事総務部長 山井 徹三 (TEL 03-6202-3800)
会社名	JIC キャピタル株式会社
代表者名	代表取締役社長 CEO 池内 省五
問合せ先	広報 奥村、三角 (TEL 070-3960-3640/080-8098-0445)
会社名	株式会社UACJ
代表者名	代表取締役 社長執行役員 田中 信二
問合せ先	総務・広報部長 青山 康則 (TEL 090-1619-8210)
会社名	日本軽金属ホールディングス株式会社
代表者名	代表取締役社長 岡本 一郎
問合せ先	企画統括室 広報・IR担当 石川 千津 (TEL 03-6810-7160)

東洋アルミニウム株式会社と株式会社UACJ製箔との合併による経営統合の中止  
及び経営統合に関する統合基本契約の合意解約に関するお知らせ

東洋アルミニウム株式会社（以下「東洋アルミニウム」という。）、株式会社UACJ製箔（以下「UACJ製箔」という。）及びJICキャピタル株式会社（以下「JICC」という。）並びに東洋アルミニウム及びUACJ製箔それぞれの親会社である日本軽金属ホールディングス株式会社（以下「日本軽金属ホールディングス」という。）及び株式会社UACJ（以下「UACJ」という。）は、2022年8月31日付「東洋アルミニウム株式会社と株式会社UACJ製箔の経営統合に向けた統合基本契約締結に関するお知らせ」で公表の通り、東洋アルミニウムとUACJ製箔（以下「両事業会社」という。）が対等の精神に基づいて経営統合し、JICCが統合新会社の議決権の80%を取得、UACJが議決権の20%を保有すること（以下「本経営統合」という。）について合意しておりました。その後、独占禁止法に基づく手続き等の本経営統合の準備に時間を要

したことから、2023年2月27日付「東洋アルミニウム株式会社と株式会社UACJ製箔の経営統合の日程延期に関するお知らせ」で公表の通り、最終契約で合意した本経営統合の日程を延期することを関係当事者で合意し、公表しました。

しかしながら、以下に記載の理由から、関係各社の取締役会において、本経営統合を中止することを決議し、全関係当事者5社の合意により本経営統合に係る最終契約である統合基本契約を本日付で解約しましたのでお知らせします。

#### 1. 本経営統合の中止及び本経営統合に係る最終契約の合意解約の理由

2022年8月31日の本経営統合に係る最終契約の締結以降、統合の実現に向けて準備を進めるも、本経営統合を実施するための条件が整わず、本経営統合が目指した日本製アルミ箔製品の安定供給による日本の産業の下支え、日本のアルミ箔業界の更なるプレゼンス強化・企業価値の向上などの課題認識は引き続き持ちながらも、現時点においては、それぞれのグループが単独での成長戦略を描くこととし、本経営統合を中止して、本経営統合に係る最終契約を解約することに合意しました。

#### 2. 業績に与える影響

本経営統合の中止及び本経営統合に係る最終契約の合意解約に伴い、両事業会社の親会社である日本軽金属ホールディングス及びUACJにおいて業績への影響は軽微と見込んでおります。

以上